

イエス・キリストの誕生

<ヨハネによる福音書1:1～14>

新井由貴 牧師



クリスマス、おめでとうございます。私たちの救いと希望の星としてお生まれになった主イエスキリストの愛と平和が、在日大韓基督教会に属するすべての教会・信徒の皆様とご家庭の上に、豊かに注がれますよう、心よりお祈りいたします。

去年から私たちの生活を一変させた新型コロナウイルスの脅威は、日本では毎日報告されている感染者の人数は減っているものの、未だに、恐怖と不安は拭いきれずにいます。毎日、「新型コロナウイルス」という言葉を耳にしない日はありません。多くの人々がすでに大切な命を失い、夢を奪われ、希望までも失おうとしています。全世界の多くの人々が、一日も早くこの見えない恐ろしいウイルスとの戦いから解放されるために全力を尽くしていますが、どれほどの代価を払ったら、この悲しくてつらい時間が終わるかは誰にも分かりません。しかし、何よりも大切な命が、これ以上失われないよう、すべての人が心と力と知恵を一つにすべき時だと思えます。そのために、私たちはもっと切に神様に祈り、神様の慈しみと助けを求めなければならないと思います。どうか、救い主イエスキリストの恵みによって、私たちがこの危機から守られ、すべての人が神様を真の命の主であることを認めることができますようにと祈らなければなりません。

『ファーストクリスマス』という短いアニメーション（映画）を見ました。その内容はタイトルが示している通り、イエス様誕生のお話でしたが、そこで、私が感じたことを少し分かち合いたいと思います。そのアニメーションは、東方からイエス様の所へ向かう三人の博士たちの姿から始まりました。それから、マリアとヨセフのベツレヘムへの旅や、荒れ野で天使たちの知らせを受けた羊飼いたちの辿り、そして、その全ての人々が赤ちゃんイエス様の前に集まって喜ぶ場面で終わりました。私はそのアニメーションを見ながら、とても単純だけれども大事な重要なポイントに気づいたのです。このアニメーションに出て来る全ての人々が神様の御言葉に素直に従ったので、イエス様に出会うことができました。こんなに当たり前で単純なことであるのに、私たちの神様の言葉に対する受け止め方・捉え方はどうだろうかと考えてみました。マリアは御言葉を受けてイエス様を身籠り、ヨセフはガブリエルの話を受け止めてマリアを妻に迎え入れ、荒れ野の羊飼

いたちは天使の知らせに従って辿り、博士たちは星に導かれました。皆が神様の御言葉を受け入れ従ったので、最後には命の主であるイエス様に出会うことができました。私たちも、神様の御言葉をそのまま素直に受け入れて従い、また、導かれることによって、イエス様に出会うことができます。その神様の御言葉は慈しみと憐れみと愛の御言葉で、それに従わずにイエス様に会えることなどあり得ないことなのです。

ところで、誕生という言葉は、言葉の「言」と、延ばすの「延」、また、生まれるの「生」という漢字の組み合わせで成っています。言葉遊びのような気がしますが、神様の御言葉であるイエス様は、人間である私たちの救いのため、私たちと同じ姿でお生まれになりました。それは私たちがイエス様のように生きることによって、神様の永遠の命に与ることができるようにするためでした。神様はその御言葉をすべての時代のすべての人にまで延ばされ、すべての人が永遠の命に与れることを望んでおられるのです。もし、「誕生」という言葉をこのように解くならば、確かに、私たちは神様の御言葉に従わなければ、生きていても、生きているとは言えないでしょう。今まで人類はこの世の様々なやかましい声に耳を傾け、神様の御言葉からだいぶ遠ざかってしまいました。併せて、この新型コロナウイルス禍でのイエス様の新たな誕生の意味を、私たちがもっと真剣に受け止められたら幸いです。神様が創られたすべての人を照らし、永遠に輝く光としてこの世にお生まれになったイエスキリストの誕生日を迎えながら、私たちがイエス様に倣って、神様の御言葉だけに単純に素直に従うことができますよう、心を込めてお祈り致しましょう。

私たちを導かれる神さま、

この世界と私たちのために、御子イエスキリストを送ってくださいましたこと、感謝いたします。私たちを照らすまことの光であるあなたからの恵みが、すべての人々に与えられますように。深い感謝の思いでクリスマスを祝い、私たちを新しく生まれ変わらせてください。

この祈りを主イエス・キリストの御名によっておさげいたします。アーメン。

韓日対照聖書販売



各ページ左に韓国語（改革改版）、右に日本語（新共同訳）が掲載されています。

●A5版変型・1772ページ

●価格：3,000円（消費税・送料込み）

※お求めは総会事務所へ

韓日対照讃頌歌販売



韓国の新讃頌歌版です。交読文も韓日対照で掲載されています。

●B6版変型・1483ページ

●価格：2,500円（消費税・送料込み）

※お求めは総会事務所へ

神戸教会

創立100周年記念式開催 新築教会堂献堂式を兼ね盛大に

1921年創立され、100周年を迎えた神戸教会では、教会創立100周年記念式と新築教会堂の献堂式が10月31日に行われた。

コロナ事態にも関わらず100人を超える人数が集まり、堂会長韓世一牧師の司会で開会された記念式と献堂式の礼拝においては、副総会長の中江洋一牧師の祈祷、総会長趙永哲牧師による「新しく創造された教会」(Ⅱコロント5:17)という説教がなされた。

第2部には、尹聖哲長老の司会のもとで、100年の歩みを映像で紹介された後、総会、西部地方会、日本教会、民団、総領事



館からの祝辞が行われ、韓国からは映像祝賀メッセージもあった。最後には演奏家の小堀秀郎氏による祝賀ピアノ演奏会も行われた。

武庫川教会

創立90周年記念礼拝開催 スライドを用いて教会の歴史を紹介

11月14日に武庫川教会(梁榮友牧師)創立90周年記念礼拝と記念式典が行われた。午前の記念礼拝は副総会長の中江洋一牧師を迎え、「救い主は後ろにおられるかも」(ヨハネ20:11~18)、という説教がなされた。

午後の記念式典には、創立90周年を記念して、女性会による詩編90編の朗読があり、その後スライドを用いて創立以来の武庫川教会の歴史が紹介された。コロナ禍のため多くの来賓を招くことは困難であったが、総会内の諸教会から沢山のお祝いの電報と海外の姉妹教会や宣教支援先の宣教師からビデオメッセージが届いた。

新型コロナ禍感染の故、昨年4月からオンライン礼拝を行ったが、本年9月によりやく全信徒合同の対面礼拝に戻ることができた。まだコロナ禍は続いているが、教友一同が一つの場所に会し、聖歌隊の讃美を聞きながら主なる神に創立記念礼拝をささげることができたことを心から感謝する。

平和統一
会議準備委

「和解と平和のために」 オンライン学習会開催

第9回「祖国の平和統一と宣教に関する基督者東京会議」を準備する平和統一会議準備委員会主催の「和解と平和のために」オンライン学習会が4回にかけて行われ、毎回100人を超える参加者があり盛況であった。

2020年10月開催の計画で準備をしていたが、新型コロナ禍によって開催が困難になり、状況がいつ好転するかわからない状態が



関田寛雄 牧師



金性済 牧師



崔在永 牧師



李泳采 教授

続く中、韓(朝鮮)半島の分断には日本にも大きな責任があるが、在日大韓基督教会においても、日本の教会においてもそのような認識が浅いのが現状である。新型コロナ感染症の状況がよくなることを祈りながらの「韓(朝鮮)半島の和解と平和のために」オンライン学習会であった。

第1回目は、8月24日(火)、「戦争責任告白」のテーマを神学的に深めてこられた関田寛雄牧師(青山学院大学名誉教授)を講師とし、ご自身の多摩川河川敷、戸手伝道での在日コリアンとの出会いと交わり、川崎教会(李仁夏牧師)との出会いと人権運動をめぐる同伴的な歩みから、北朝鮮訪問の旅に至る講演が行われた。

第2回目は、9月14日(火)、在日2・5世として在日大韓基督教会にて28年間の牧会宣教の経験を経たのち、2018年4月より日本キリスト教協議会(NCC)総幹事に就任し働いている金性済牧師を講師とし、「和解と平和」の宣教課題を、KCCJとNCCJの立場から考え、どのようにこれからの宣教の課題を構想するかについて講演した。

第3回目は、10月4日(月)、在米韓国人牧師として北朝鮮を尋ね歩き、朝鮮キリスト教連盟をはじめとするボンス教会、七谷(チルゴル)教会、また550ヶ所の家庭教会(集会)の事情などに詳しい崔在永(チエ・ジェヨン)牧師を講師として迎え、同時通訳を入れて「北朝鮮のキリスト教会に関する正しい理解」という題目で講演し、今まで知らなかった事実に関して学ぶことができた。

第4回目は、10月25日(月)、1998年来日し、恵泉女学園大学で教鞭をとっている李泳采教授を講師として招き、「戦後の日韓関係の基本構造と朝鮮戦争終結の可能性」というテーマで、米国・日本・朝鮮・韓国の近代において歴史的な関係を踏まえて今日の私たちが和解と平和のために進めていくべきことを話した。

第56回 定期総会開催

新総会長に中江洋一牧師選出、金柄鎬総幹事3回目の選任



中江洋一 総会長



梁栄友 副総会長



金日煥 副総会長



張慶泰 書記



鄭守煥 副書記



裴良一 会計



金柄鎬 総幹事



2021年11月23日（火）、在日大韓基督教会第56回定期総会が、「苦難の時代に平安と希望を与える教会」（エレ29：11）という主題をもって、新型コロナウイルス感染事態により、一日のみの会議として大阪教会で開催された。

23日の午前10時から副総会長の李大宗長老の司会で始まった開会礼拝は、総会長の趙永哲牧師が「苦難・平安・希望」（エレ29：11）という題で説教した後、副総会長の中江洋一牧師による「召天者」追悼の言葉と祈りが行われた。

開会礼拝が終わった後、早速議事に入り、全総代152名のうち、出席総代119名を確認して会議の開会が宣言された。先ず、議事運営委員の承認と会順採択がされた後、新総代紹介、今期で隠退される総代の紹介、来賓挨拶（映像）、前回定期総会会議録が承認された。

役員改選のための選挙に入り、コロナの影響で一日のみの総会になり、時間節約のために郵送による事前投票の結果を発表しながら二次選挙に入り、総会長に中江洋一牧師（広島）、副総会長に梁栄友牧師（武庫川）、金日煥長老（東京）が選出された。総幹事選出には常任委員会から推薦されて三期目に臨む金柄鎬牧師に対する賛否を問う投票を行い、金柄鎬牧師が三期目の総幹事職を全うすることになった。しかし、総会規則の「総幹事の任期は4年とする。但し連任出来るが10年を越えることは出来ない」という定めによって金柄鎬総幹事の任期は後2年である。

その他の役員は、書記に張慶泰牧師（船橋）、副書記に鄭守煥牧師（豊橋）、会計に裴良一長老（京都）が選ばれた。役員選挙や会議の間に各種報告などが行われた。

昼食を挟んで委員長が推薦され承認をし、常任委員会が組織され、引き続き、前総会長の金鐘賢牧師の司式のもとで「旧新常任委員交替式」が行われ、議長が中江洋一新総会長に交代された。新しく選任された委員長は以下の通りである。

宣教委員長：趙永哲牧師（大阪北部）、
教育委員長：金迅野牧師（横須賀）、
社会委員長：李根秀牧師（大阪KCC）、
神学考試委員長：朴栄子牧師（豊中第一復興）、
信徒委員長：梁陽日長老（大阪）、

憲法委員長：鄭然元牧師（大阪）、
救済基金委員会：金秀生長老（名古屋）、
財政委員長：裴良一長老（京都）、
讃頌歌委員長：金忠洛牧師（堺）、
平和統一会議準備委員長：金鐘賢牧師（浪速）、
憲法規則等改正検討委員長：白承豪長老（神戸）
監査：高在道長老（名古屋）

各委員会の組織と活動計画は、定期総会の閉会后、早速オンラインによる委員会を開き、福音新聞12月号に掲載することにした。

献議案審議に入り、以下の献議案が採択された。

- ①「在日韓国基督教会館（KCC）」理事・監査の承認。
- ②「在日韓国人問題研究所（RAIK）」理事の承認。
- ③「西南韓国基督教会館（西南KCC）」理事の承認。
- ④「在日総会神学校理事」の承認。
- ⑤「大阪平康教会解散」の承認。
- ⑥「神学考試委員会の規則変更」の承認。
- ⑦「平和統一会議準備委員会」の特別委員会として継続設置の承認。
- ⑧「教役者隠退後の支援給付金規則」と「救済基金委員会の規定」を承認。
- ⑨「在日大韓基督教会規則改正」の承認
- ⑩「西部地方会規則改正」の承認。
- ⑪「憲法規則等改正検討委員会」を特別委員会設置の承認。
- ⑫「予算案」審議と承認があり、閉会礼拝に移った。

副総会長の梁栄友牧師の司会、副総会長金日煥長老の祈祷、総会長の中江洋一牧師の「生きるための旅を」（行27：33～38）という題目の説教と祝祷後、第56回定期総会の閉会が宣言された。

場所を提供し、あらゆる奉仕をしてくださった大阪教会の鄭然元牧師をはじめとする信徒の方々、特に開会礼拝においてオルガン伴奏をされた金愛利執事、事務の金玉美勸士、金伸禹牧師に感謝する。

また、同時通訳の金容昭牧師、金成彦牧師、李相徳牧師、石橋真理恵伝道師、特に席を離れず会議録書記として奉仕された朴成均牧師、金聖泰牧師に感謝する。

そして、期間中目立った奉仕をされた神学生の鄭詩温、高大韓、具本曙、韓宣榮、そして写真撮影を担当された鄭東鎬さんに感謝する。（編集者）

第56回総会期 各委員会組織と活動計画

●宣教委員会

<組織>

- ・委員長：趙永哲牧師（大阪北部）
- ・委員：林明基牧師（書記、京都）、
李炫知勸士（会計、女性会）、
張慶泰牧師（船橋）、全炳玉牧師（名古屋南）、
李重載牧師（川西）、金仁果牧師（福岡）



<活動計画>

- (1) 教会成長、宣教の方法などのオンライン「宣教セミナー」を年 2 回実施。
- (2) 各地方会の要請に応じて伝道集会等の支援。
- (3) 韓日 5 個教団宣教師に関する実務者会議への参加と提案。
- (4) カルト（異端）に対する研究と対策事業、専門家による異端セミナーを年に 1 回行う。
- (5) コロナ禍の時代とその後の宣教の課題について、各地方会、個教会への費用と技術的支援を検討、オンライン礼拝（非対面礼拝）のための講習会を 1 回開催。

●教育委員会

<組織>

- ・委員長：金迅野牧師（横須賀）
- ・委員：李正子勸士（書記、女性会）、
蔡銀淑牧師（会計、大垣）、
李明信牧師（山形ウリ）、朴愛仙牧師（今福）、
李相徳牧師（三次）、朱文洪牧師（小倉）



<活動計画>

- (1) 教役者研修会
- (2) 教役者・長老等修養会
- (3) 海外韓人教会教育と教会協議会（2022年4月19日～22日／アメリカ）への参加
- (4) zoomなどを通して持続的で定期的な話し合いの場を創出する。それによって、テーマに即した議論を深めるとともに、他の委員会とも連携を企画しながら、新たなプロジェクトの芽出しを目指す。

●社会委員会

<組織>

- ・委員長：李根秀牧師（KCC）
- ・委員：姜章植牧師（書記、品川）、
申容燮牧師（会計、KCC）、
李大宗長老（名古屋）、尹鐘憲牧師（明石）、
郭鏞吉牧師（沖縄）、金錦順（女性会）、
佐藤信行氏（准、RAIK）



<活動計画>

- (1) 社会委員会の既存の事業は継承して取り組む。
- (2) ハラスメント・パンフレットの発行に向けて執筆と発行準備継続し、2年以内に発行を目標にする。
- (3) 2022年「部キ連」の水平社創立100周年事業に協力・協賛する。
- (4) 「同和問題と組む宗教教団連帯会議」への加盟を総会常任委員会に上程し、KCCJが教団として加盟するように委員会として必要な活動を行う。
- (5) 人権主日（9月）のKCCJ傘下教会の礼拝と説教などが人権問題などを取り上げるように働きかける。

●神学考試委員会

<組織>

- ・委員長：朴榮子牧師（豊中第一復興）
- ・委員：韓世一牧師（書記、神戸）、
金容昭牧師（会計、西新井）、
李珍容牧師（豊田めぐみ）、
林明基牧師（京都）、
金聖孝（熊本）、朴成均牧師（和歌山第一）



<活動計画>

- (1) 学習・洗礼準備勉強集の再発行のための確認
- (2) 神学セミナーの開催
- (3) 細則改正となり、2023年3月～4月に行われる伝道師・牧師考試の方法の整備と実施
- (4) 長老教育・考試のための統一教案の再検討

●信徒委員会

<組織>

- ・委員長：梁陽日長老（大阪）
- ・委員：金聖泰牧師（書記、関東）、
高慶美長老（会計、女性会）、
宋福姫勸士（名古屋）、崔亨喆牧師（岡山）、
趙顯奎牧師（別府）、李敏禮執事（女性会）、
車有吾（準、青年会）



<活動計画>

- (1) 全協・各地方会青年会の再建及び青年会活動の活性化のための支援を進める。
- (2) 全国女性会・各地方会女性会と連携及び女性会活動との協働に取り組む。
- (3) 三、四十代男性信徒の交流をはじめ、壮年（男性）会の仲間づくりや全国組織化に着手する。
- (4) 全国長老会との連携及び教会発展のための共同研究や活動を実践していく。
- (5) 日本基督教団、日本キリスト教会を中心に、信徒レベルでの交流、ネットワークづくりを展開する。
- (6) 教会の社会貢献について検討すると共に、多民族多文化の宣教活動を促進していく。

●憲法委員会

<組織>

- ・委員長：鄭然元牧師（大阪）
- ・委員：白承豪長老（書記、神戸）、
黄文錫長老（会計、大阪）、
金根湜牧師（ハンサラン）、
金聖孝牧師（熊本）、崔光一長老（名古屋）、
柳町功長老（横浜）



<活動計画>

- (1) 憲法委員会に上程される内容を迅速に処理できるよう対面、非対面会議を通して対応する。
- (2) 「憲法規則等改正検討委員会」の活動に協力し、総会の発展に役立てる。
- (3) 総会憲法と諸規則の補完事項などを整備する。
- (4) 地方会、教会、各機関を連帯し、憲法教育などを実施。



第56期常任委員会



同時通訳奉仕者

●救済基金委員会

<組織>

- ・委員長：金秀生長老（名古屋）
- ・委員：金勝正長老（豊橋）、
金哲鎬長老（会計、神戸東部）、
吉井秀夫長老（会計、京都）、
李明信牧師（山形ウリ）、金定明長老（宇部）



<活動計画>

- (1) 第56回総会で支援給付金規則と救済基金委員会規定を制定する献議案が議決。規則に従い、直ちに施行を進めるが、議場質問から規則の修正検討が認められた以下の3項目については、次回の常任委員会及び総会までに調査し、必要に応じて見直しを図る。
 - ①規則第3条③の遺族配偶者の資格時期（年齢）の件
 - ②過去の旧年金基金が目的以外に流用されるケースについて防止策の規則追加の件。
次回常任委員会までに防止策を検討し、常任委員会審議を経て規則追加する。
 - ③規則第4条③の受給資格の年収額の件。
- (2) 規則第6条の基金の補充について、各教会ならびに地方会、総会に本規則の目的を説明し、定期的な指定献金により基金を補充する。

●財政委員会

<組織>

- ・委員長：裴良一長老（京都）
- ・委員：朴英遠長老（品川）、
鄭仁仙長老（岐阜）、
森克之長老（大阪）、白承豪（神戸）、
崔允聖長老（福岡）



<活動計画>

- (1) 総会負担金の100パーセント納入と総会負担金総会への送金の平準化
- (2) 過年度未収金への対応（関東・関西）と計画案の作成
- (3) 西新井教会に対する立替金への対応（4ヵ年返済計画案の実施）
- (4) 貸付金および立替金に対する精査と現況把握
- (5) 特別会計の整理
- (6) 財政報告書等の見直しと改善
- (7) 機構改革による総会負担金算出方法（新総会負担金規定）の検証
- (8) 監査の強化（総会会計および各委員会会計）
- (9) 総会神学校への対応と現況把握（総会神学校理事会との関係強化）

●讃頌歌委員会

<組織>

- ・委員長：金忠洛牧師（堺）
- ・委員：金伸禹牧師（書記、大阪）、
崔亨喆牧師（会計、岡山）、
朴栄子牧師（豊中第一復興）、金必順牧師（準）



<活動計画>

最新のゴスペルソングと子供讃美歌を翻訳して各教会に提供する。



開会礼拝で説教する
趙永哲牧師



開会礼拝で説教する
中江洋一牧師

●平和統一会議準備委員会

<組織>

- ・委員長：金鐘賢牧師（浪速）
- ・委員：張具滋佑牧師（書記、東京希望キリスト）、
李永九長老（横浜）、
金迅野（横須賀）、
朴英遠（品川）



<活動計画>

- (1) 第9回「祖国平和統一と宣教に関する会議」開催に伴う準備に臨む。
- (2) 日本国内NCCJをはじめ、各教団の協力体制を整える。
- (3) 国外（韓国、諸外国）協力体制を整える。
- (4) 朝キ連（朝鮮キリスト教連盟）との連絡網構築
- (5) 8月第2主日、総会「平和統一主日」献金要請と共同祈禱文作成配布。

●憲法規則改正検討委員会

<組織>

- ・委員長：白承豪長老（神戸）
- ・委員：吉井秀夫長老（書記、京都）、
黄文錫長老（会計、大阪）、
洪性完牧師（つくば東京）、
鄭然元牧師（大阪）、柳町功（横浜）、
崔光一長老（名古屋）、高文局長老（別府）



<活動計画>

現在、総会には、憲法、規則、戒規、裁判規程、宗教法人に基づく規則、負担金規定、財政委員会規定、神学考試委員会細則などの定めがあるが、実態にそぐわずバラバラとなっているため、憲法解釈を求められたときに規定があいまいで困難をきたしたので、一貫した憲法と規則への改正を検討していく。この働きは簡単にいくものではなく、委員の交代を避けた上で、4～5年検討する必要があると思う。とりあえず2年後の定期総会で何らかの素案が提示できたらと考えている。



選挙の様子



選挙管理委員会



マイノリティー宣教センターアピール



会議録書記



新旧総会長交代式



女性総代一同



神学生一同

川崎教会

李相勁牧師委任式挙行

姜玲玉、金恵珍長老将立式も同時に



李相勁牧師

10月10日、川崎教会では、李相勁牧師委任式、姜玲玉、金恵珍長老将立式、金達弘名誉長老推戴式が行われた。

教会堂建築工事のため臨時礼拝堂として利用している桜本保育園で行われた式典は、臨時堂会長であり、関東地方会長である李明忠牧師の司会と司式のもとで執り行われた。

礼拝説教は金容昭牧師（西新井教会）が「キリストの光を輝かせる」（行27：20～25）の題目でなされた。

この度、川崎教会の担任牧師として関東地方会から委任された李相勁牧師は、1967年韓国で生まれ、同志社大学大学院神学研究科を卒業し、2003年に西部地方会で牧師按手を受けた後、京都東山教会、川西教会の牧会、2014年から国内宣教師として日本基督教団福知山教会で牧会した。

将立された姜玲玉長老は、1962年日本で生まれ、1990年から川崎教会に移籍し、1995年から執事として仕えた。

金恵珍長老は、1970年韓国で生まれ、2000年川崎教会にて受洗、2007年から執事として仕えた。

金達弘名誉長老は、1949年日本で生まれ、1968年宇部教会にて受洗、1991年長老として将立された。

大阪西成教会

崔定植名誉長老が召天

55年間執事・長老として同教会に奉仕



去る10月20日、大阪西成教会の崔定植名誉長老が天に召され、10月22日、大阪西成教会にて、葬儀が行われた。88歳。

崔定植長老は1933年京都で在日2世として生まれ、京都教会の1世の長老から韓国語を学んだ。1967年から大阪西成教会の執事として仕え、1979年に長老として将立され教会を仕えて来られ、2005年に名誉長老に推戴された。

<年末年始業務案内>

総会事務局は年末年始下記の期間業務を休業いたします。
《2021年12月24日～2022年1月3日》

讃頌歌委員会より
「子どもさんびか」が
発行されました。

主の祈り・使徒信条・交読文・十戒
集録（いずれも韓国語・日本語）
一冊1,000円
お問い合わせは総会事務局へ
電話 03-3202-5398



札幌教会

神馬明子長老将立式挙行

札幌教会に20年ぶりに長老将立



11月7日、札幌教会において神馬明子長老将立式が執り行われた。

堂会長の千相鉉牧師の司会で行われた礼拝では、金君植牧師（東京教会名誉牧師）が「神が望んでおられること」（テサロニケ I 5：16～18）という題で説教された後、関東地方会長の李明忠牧師の司式のもとで長老将立式が行われた。

この度、札幌教会の長老として将立された神馬明子長老は、1959年韓国で生まれ、2000年から札幌教会に仕え、2008年からは按手執事として仕えた。

豊橋教会

松山清次名誉長老が召天

58年間執事・長老として同教会に奉仕



11月8日、豊橋教会の松山清次名誉長老が天に召され、豊橋教会にて葬儀が行われた。85歳であった。

松山清次長老は1936年に出生し、豊橋教会で学習、洗礼を受けた。1964年から執事として奉仕し、2000年に長老として将立され、2006年に名誉長老に推戴された。

東京中央教会牧師請聘

資格：在日大韓基督教会所属牧師
韓国語と日本語ができる方
連絡処：東京中央教会請聘担当者
jhahn@james-trans.com
臨時堂会長 金柄鎬牧師

宇部教会牧師請聘

資格：在日大韓基督教会所属牧師及び
加入 possible の牧師
年齢：60歳まで（1961年生まで）
連絡処：臨時堂会長(hyeranwj@hanmail.net)
Tel：090-2083-4986

豊かな味、豊かな心。



妻家房
SAIKABO

代表取締役 呉永錫（東京希望キリスト教会 長老）

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100